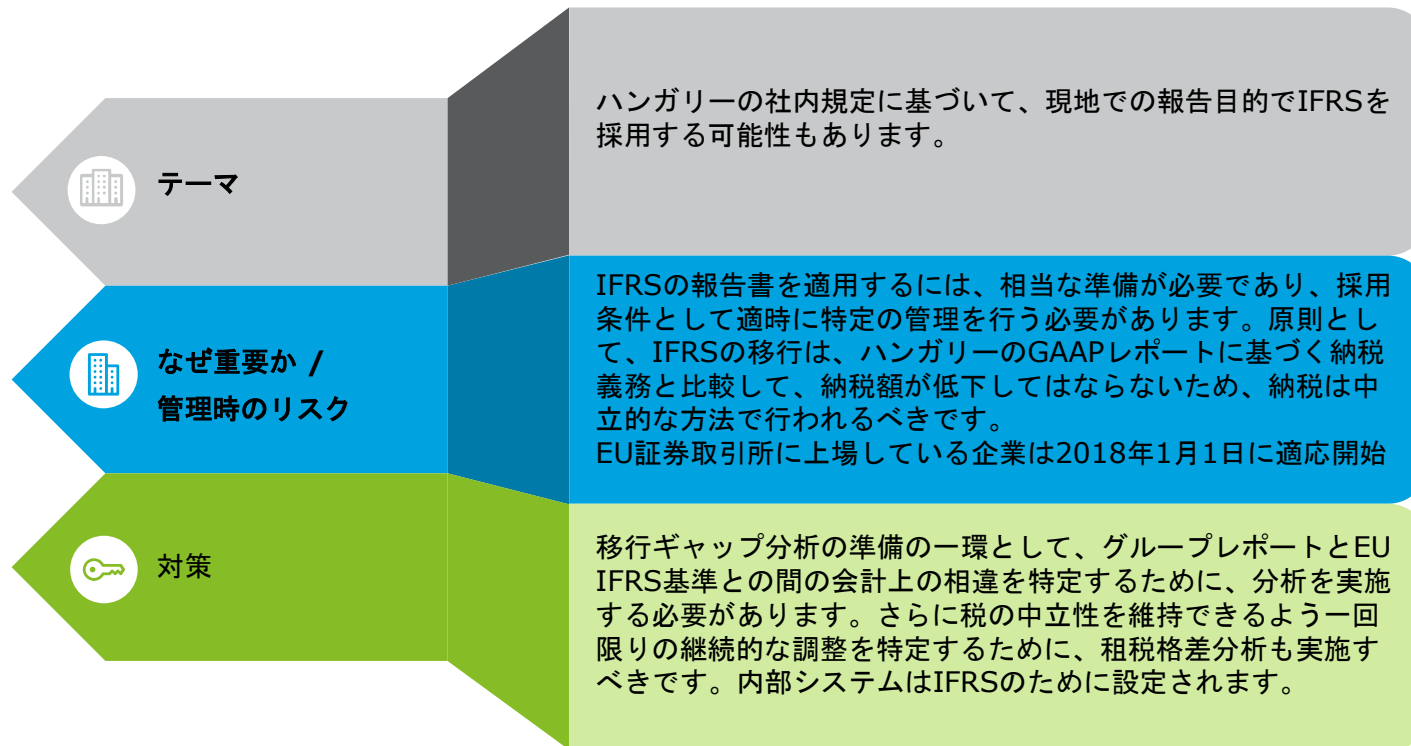


Deloitte.



IFRS(国際財務報告基準)導入の機会

IFRS (国際財務報告基準)- 管理簡素化の機会



IFRS (国際財務報告基準)導入

影響を受ける企業

ハンガリーの法律の会計に関するC. 2000年の法により、IFRSが初めて採用されました。

§会計9 / A法律2000年の法の段落によると、IFRSの採用を要求をされる事業体および採用を選択できる事業体があります。



1. 2018年1月1日以降、企業はIFRSを採用する必要があります

- EU証券取引所に上場している企業
- 銀行やその他の金融機関は、銀行のような健全性規則と同条件を課します



2. IFRSの採用を選択できる企業:

- IFRSに従って財務諸表を作成する親会社と事業体
- 保険会社
- ハンガリー国立銀行が管理する機関
- 財務諸表が監査の対象となる事業体
- 外国企業のハンガリー支店

複雑なこと

- ハンガリーの規則とIFRS（例：グループパッケージ）の両方に基づいて帳簿を準備している企業であっても、IFRSの初回の採用およびIFRSの簿記への移行は困難です。
- 主に会計処理に影響を及ぼしますが、事業活動、リスク管理、法律、税務および人事を含む企業のすべての分野に影響を及ぼすため、会計処理の演習だけではありません。
- レディネステストの間は、簡単に見える項目でも問題が発生する可能性があります。

IFRS (国際財務報告基準)導入

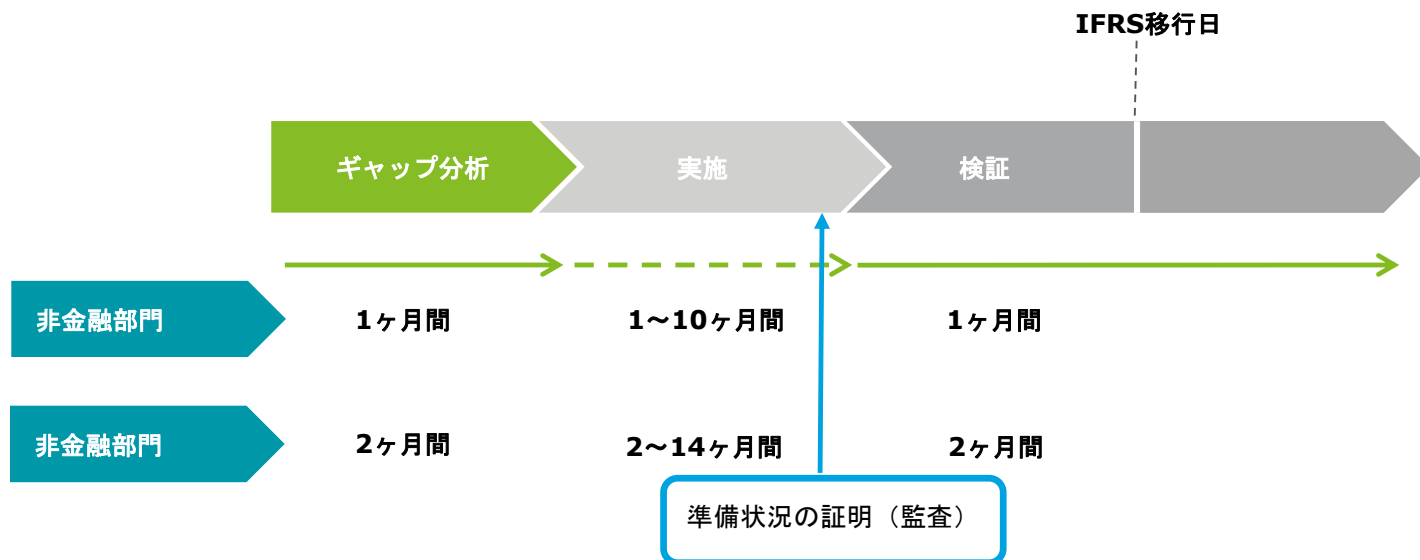
タイミング



IFRS導入の主な段階

IFRSの導入では主に3段階に分けられます。最初のセクションであるギャップ分析に続いて導入段階が実施され、その後、検証段階で移行日にプロセスが終了します。

ギャップ分析と検証段階のタイミングは概算で同じですが、導入段階ではより長い時間がかかります。導入段階の最後には、監査が非常に重視される準備状況の証明が含まれています。



IFRS移行における課題

IFRSの採用前に、以下を評価し検討する必要があります

IFRSおよびハンガリーの会計基準の相違、新たな開示義務およびIFRS移行に関連する情報ニーズ

企業が事業を行っている支店・業界・部門の実施に必要な追加の一連の措置は、IFRS適用時の特別要件です

必要な情報の効果的な生産、IT開発は追加情報を生成し、保管する必要があります。追加のIT要件に割り当てられるリソースです

IFRS会計方針、プロセスの開発における経営上の意思決定

IFRSへの移行によってもたらされる単一および連続の税効果

重要な会計分野（複数例）

最初の提示

- ・ 金融商品・負債の分類および公定価格による最初の提示
- ・ 投資不動産および売却予定資産を個別に提示
- ・ 親会社から提供された財務保証の提示
- ・ プロビジョニング
- ・ 繰延税資産および負債の提示
- ・ ファイナンスおよびオペレーティングリースの分類資本増強、資本拠出の補償

導入タスク

- ・ 企業が初めてIFRSを採用する場合：IFRS 1に基づく範囲、目標、例外
- ・ モデリングタスク：
 - ・ 償却原価
 - ・ 減損計算
 - ・ 公定価格
 - ・ 繰延税金
- ・ プロセスコントロール
- ・ IT開発
- ・ トレーニング

評価

- ・ その後の測定金融資産および負債
- ・ 投資の評価
- ・ 簿価ゼロの無形資産および有形固定資産の耐用年数の見直しが行われているが、未だ使用中
- ・ コンポーネントベースの会計の活用
- ・ 現在の市況より有利な条件に基づいて授受される貸付金の助成金・給付金としての金資産の会計処理
- ・ 従業員給付の評価
- ・ ヘッジ会計およびその適用

文書化要件

- ・ 最初のIFRS財務書類の作成と内容
- ・ スタンドアローンまたはグループIFRS会計方針
- ・ 方針および見積もり
- ・ IFRSの勘定課目表およびIFRS会計マニュアル
- ・ 有用な経済寿命の年次改訂に関する文書



IFRSの採用・移行全体のサポートの提供が可能

